

著者紹介

羽田 正 (HANEDA Masashi)

1953年生まれ。東京大学東洋文化研究所教授。著書に『東インド会社とアジアの海』(2007年、講談社)、『イスラーム世界の創造』(2005年、東京大学出版会)ほか。

ジャン・ボベロ (Jean BAUBÉROT)

1941年生まれ。フランス高等研究院名誉院長 (Président honoraire de l'Ecole Pratique des Hautes Etudes)。著書に *La laïcité expliquée à M.Sarkozy et à ceux qui écrivent ses discours* (2008年、Albin Michel)、*Les laïcités dans le monde* (2007年、Presses Universitaires de France) ほか。

伊達聖伸 (DATE Kiyonobu)

1975年生まれ。日本学術振興会特別研究員 (PD)。論文に「L'histoire religieuse au miroir de la morale laïque au XIXe siècle en France」(2007年、Thèse de doctorat présentée à l'Université de Lille 3)、「ライシテは市民宗教か」(2007年、『宗教研究』354号)ほか。

近藤光博 (KONDO Mitsuhiro)

1967年生まれ。日本女子大学文学部史学科准教授。論文に「現代インドの対「ムスリム」偏見：コミュニズム論から宗教研究の理論的再検討へ」(『宗教研究』第341号、2004年)、「宗教復興と世俗的近代：現代インドのヒンドゥー・ナショナリズムの事例から」(『現代宗教2005』所収、東京堂出版、2005年)ほか。

増田一夫 (MASUDA Kazuo)

1954年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻教授。著書に『来たるべき〈民主主義〉——反グローバリズムの政治哲学』(共著、藤原書店、2003年)、『カール・シュミットと現代』(共著、沖積舎、2005年)ほか。

中島隆博 (NAKAJIMA Takahiro)

1964年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻准教授。著書に『残響の中国哲学——言語と政治』(東京大学出版会、2007年)、*The Chinese Turn in Philosophy* (2007年、UTCP) ほか。

島蘭 進 (SHIMAZONO Susumu)

1948年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科教授。著書に『スピリチュアリティの興隆——新霊性文化とその周辺』(2007年、岩波書店)、『精神世界のゆくえ——宗教・近代・霊性』(2007年、秋山書店〔新版〕、〔初刊1996年〕) ほか。

世俗化とライシテ

羽田正 編

2009年2月18日発行

発行人 ——— 小林康夫

発行所 ——— 東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」

The University of Tokyo Center for Philosophy (UTCP)

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

編集人 ——— 太田啓子・前田晃一・UTCP

装幀 ——— 平倉圭

印刷・製本 ——— ディグ

〒104-0043 東京都中央区湊 2-8-7

Copyright © 2009 by UTCP

ISSN 1882-742X

Printed in Japan